

実物の羽がズラリ約100本！

西村眞一「善福寺公園・野鳥の羽」展を開催中

現在、都立善福寺公園サービスセンター（善福寺3-9-10）内のギャラリーでは、区内在住の野鳥写真家・西村眞一さんが善福寺公園などで集めた、アオバトやカワセミ、オナガガモなど25種約100本の野鳥の羽が展示されています。

一枚の羽をきっかけに、どんな鳥だろう？と興味をもって調べる事につながってもらいたいと、あえて鳥の写真は一切展示していません。備え付けの図鑑をめくりながら、じっくりとお楽しみください。展示期間は3月2日（日）までです。

今回の展示は、公園サービスセンターの職員が、清掃や巡回などで園内を回った際に、野鳥の羽をたくさん拾うことから思いつきました。うっそうとした樹林に囲まれ、大きな池がある善福寺公園には、渡り鳥だけでなく、一年を通じてたくさんの野鳥が飛来します。一方で、野鳥であるため、なかなか間近で見ることが難しく、なんとかたくさんの人に本物を見て親しんでもらいたい、という願いがありました。そこで、善福寺公園を活動フィールドにしている野鳥写真家の西村眞一さんに相談したところ、実は西村さんも羽の収集家であることがわかり、その協力を得て、羽だけを見せる少し変わった展示を実現することができました。

会場には、アオバトやカワセミといった希少な鳥の羽や、シジュウカラの4センチほどの尾羽から30センチを超えるハシブトガラスの風切羽まで、25種約100本が並びます。そのほとんどが善福寺公園で拾われたものです。実物を展示してあるので、羽の質感や立体感、そして一枚一枚違う繊細な色合いを間近でじっくりと見るすることができます。



センター長の小島順子さんは、「例えばキジバトは遠目には灰色ですが、羽を見ると、外側のほんの縁の部分の色が重なって、あの体の色になっていることがわかります。実物を見て気付くこともあるので、そこから、野鳥や自然について興味を持って調べる事につながってもらえたらと、あえて会場に鳥の写真は展示せず、調べるのに役立つ図鑑や参考図書を用意しました。」と話しています。

ギャラリーの窓からは、善福寺池がすぐそこに見え、調べた鳥がいるかどうか、つい池の縁を歩いてみたくなる展示です。

■西村眞一「善福寺公園・野鳥の羽」展

2月8日（土）～3月2日（日）午前9時～午後5時（最終日は午後3時まで）

【開催場所】都立善福寺公園サービスセンター・ギャラリー（善福寺3-9-10）

【問い合わせ】都立善福寺公園サービスセンター 電話3396-0825